

全校朝会 校長講話【5月7日】

「語先後礼－挨拶を自分から進んでしよう－」

さて、今日は、「は・あ・と」の「あ」の話をします。「あ」は、どのようなことでしたか？ そうですね。「挨拶を自分から進んでしよう」です。

校長先生は、4月は毎朝、校門に立って生活指導主任の船田先生たちと一緒に、皆さんに「おはようございます。待っていました」と挨拶をしています。

日に日に、校長先生に笑顔で挨拶をする人が増えて、とても嬉しいです。

今から、朝の関台小の子供たちの「挨拶」の様子を、5年生の代表の人に演技をしてもらいます。名前をお願いします。（①番の役をする～です）

◆ それでは、①のパターンです。

校長）→「おはようございます。待っていました」

①番の五年生）→「ポケットに手を入れたまま、黙って通り過ぎる」

◆ 次に、②のパターンです。

校長）→「おはようございます。待っていました」

②番の五年生→「軽く会釈しながら、おはようございますと言う」

◆ 次に、③のパターンです。

校長）→「おはようございます。待っていました」

③番の五年生）→「歩きながら帽子をとって、軽く会釈しながら、おはようございますと言う」

◆ 最後に、④のパターンです。

校長）→「おはようございます。待っていました」

④番の五年生）→「校長先生の前で立ち止まり、帽子をとって、校長先生の目を見て、校長先生おはようございますと言う。その後で、礼をする」

さて、みなさんの挨拶はどれに近いでしょうか？

③番の子のように、帽子を取って挨拶をするのが、関台小のマナーですね。

さらに、④番の子のように、「立ち止まって、相手の目を見て、おはようございますと挨拶をしてから、礼をする」。

これを「語先後礼（ごせんごれい）」といって、とても丁寧な挨拶の仕方です。こういう挨拶ができる人が、430人中5人います。素晴らしいです。

①番の子のように、なかなか声が出せない子も、一度声を出せると、次の日は、もっと元気に挨拶ができると思います。頑張って、「おはようございます」と声を出してみましょう。

②番の子のように、帽子を取らないで挨拶をしている人は、帽子をとって挨拶をしましょう。③番の子は、④番の子のように「語先後礼」で挨拶をすると、とても丁寧で挨拶をされた人はとても気持ちがいいものです。挑戦してみましょう。

挨拶は、人と人をつなぐ大切な言葉です。挨拶をすると、みんなが笑顔になって、嬉しい気持ちになります。自分から進んで挨拶ができる人になりましょう。

では、最後に、みんなで「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」の挨拶を、校長先生の後に続いて、「語先後礼」で尝试してみましょう。